

疫学情報⑨ 2016年3月9日

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000113806.html>

ジカウイルス感染症患者の発生について

神奈川県内において、ブラジルへの滞在歴がある男性1名が発疹等の症状を示し、2月24日に県内の医療機関を受診しました。ジカウイルス感染症の疑い事例として医療機関から自治体に届け出があり、本日、国立感染症研究所における検査の結果、ジカウイルス感染症の陽性が確定しました。我が国でジカウイルス感染症患者が発生したのは4例目（全て輸入症例）であり、今回の中南米におけるジカウイルス感染症流行後としては初めての発生になります。

この患者に関する情報等は、以下のとおりです。

○ 患者に関する情報

(1) 概要

年代：10代 性別：男性 滞在国：ブラジル（2月9日～2月20日）

症状：2月20日に発熱、2月22日に発疹出現。蚊の刺咬歴：不明

居住都道府県：神奈川県

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11135000-Shokuhinanzenshokushianzenka/0000114020.pdf>

食品衛生管理の国際標準化に関する検討会開催要領 平成28年2月25日

厚生労働省医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部

1. 趣旨

食品衛生管理の国際標準である HACCP の普及により、安全性の高い食品の生産性の向上が期待される。食品の製造、加工、調理等における HACCP による衛生管理については、コーデックスにおいてガイドラインが示され、国、地方自治体、民間機関などにより普及に取り組んできたが、欧米等先進国をはじめとした諸外国では、HACCP に基づく衛生管理の制度化が進んでいる。このような状況を踏まえ、我が国においても従来の画一的な衛生管理の基準を見直し、HACCP の制度化を進め、異物混入や食中毒の防止など食品の安全性の向上を図る必要がある。

このため、HACCP の制度化による我が国の食品衛生管理の国際標準化を進めるための制度の枠組み等について検討することを目的として「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

2. 主な検討事項

(1) 我が国の食品衛生管理において、HACCP を制度化するための具体的な枠組み等を検討する。

HACCP 衛生管理が求められる対象食品の範囲及び対象事業者の規模

HACCP 導入事業者に対する総合衛生管理製造過程承認制度の整理

対象外の食品に対する HACCP 普及のあり方や任意の制度の導入

自治体による監視指導のあり方 等

(2) 輸入食品の食品衛生管理において、HACCP を制度化するための具体的な枠組み等を検討する。

輸入食品の HACCP 適合の確認・監視の手法

諸外国における HACCP 制度との同等性確認の方法 等

(3) HACCP に関する用語の整理を行う。

3. 検討会の運営

(1) 検討会の構成員は別紙のとおりとする。また、農林水産省の職員にオブザーバーとして出席を求める。

(2) 検討会は必要に応じ、学識経験者等の専門家の出席をその都度、求めることができる。

(3) 検討会には座長を置き、構成員の互選により定める。

(4) 座長は、検討会を招集し、これを主宰する。

(5) 座長が不在のときは、あらかじめ座長が指名する者がその職務を代理する。

(6) 検討会の庶務は、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部監視安全課 HACCP 企画推進室において行う。

(7) 検討会は特定の者に不当な利益又は不利益をもたらすおそれがある場合を除き、公開とする。

人と動物の一つの衛生を目指すシンポジウムについて 一人獣共通感染症と薬剤耐性菌

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000113259.html>

主 催：厚生労働省

1 開催日時：平成28年3月20日（日）13:30 開場・14:00～18:00

2 場 所：日本医師会大講堂（東京都文京区本駒込 2-28-16）

3 参加費： 無料

4 開催主旨： エボラ出血熱や中東呼吸器症候群（MERS）などの、動物から人へ、人から動物へ伝播可能な感染症（人獣共通感染症）は、全ての感染症のうち約半数を占めており、医師及び獣医師は活動現場で人獣共通感染症に接触するリスクを有している。

こうした分野横断的な課題に対し、人、動物、環境の衛生に関わる者が連携して取り組む One Health（ワンヘルス）という考え方が世界的に広がってきており、日本においても、One Health の考え方を広く普及・啓発するとともに、分野間の連携を推進することが重要である。

こうした観点から、医療関係者や衛生関係者の方、人獣共通感染症に関心のある方を対象とし、日本医師会及び日本獣医師会等と共催で、厚生労働省主催の第1回目のシンポジウムを開催する。

5 目 的：

1 One Health についての知見及び各分野の取組を紹介し、One Health に関する考え方の普及・啓発を図る。

2 One Health の考え方で取り組むべき課題の具体例として、世界的にも問題視されてい

る薬剤耐性問題（Antimicrobial Resistance, AMR）について取り上げ、知見及び各分野の取組を紹介し、AMRに関する知識の普及とともに、課題の把握及び改善を図る。

申込方法：氏名、所属、電話番号等の必要事項を申込用紙に明記の上、郵送、ファクシミリまたは e-mail にて申し込みをお願いします。

郵送先：〒802-0003

福岡県北九州市小倉北区米町1丁目3-10 一宮ビル7階

株式会社アウルズ 担当：高岡・市來

ファクシミリ：093-522-1768

e-mail：one_health@owlsone.co.jp

プログラム（PDF：1,270KB）

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10906000-Kenkoukyoku-Kekkakukansenshouka/0000113627.pdf>